

やまがた絆の森づくりを進めています

山形県の森林は、最上川の清らかな水を育みます。

土砂の流出を防ぎ、県土を保全します。

二酸化炭素を吸収し、温暖化の防止に貢献します。

木材やきのこ・山菜などの豊かな林産物を生み出します。

さまざまな動植物の生息の場となります。

四季折々の景観として県民の心を潤します。

しかし、人々の生活が山から離れたことや林業の採算性の悪化などから、手入れ不足の森林が多くなり、こうした森林の持つ多面的機能が十分に発揮されなくなっています。

森林を健全な姿で未来に引き継いでいくためには、森の手入れが欠かせません。

今、森林は、企業の皆さんの行動力や知恵を必要としています。

山形県では、森林の保全や活用を通して企業の皆様と地域の方々が絆を深め、地域活性化に結び付く「やまがた絆の森づくり」を進めています。

目 次

やまがた絆の森づくりとは	P2
やまがた絆の森づくりの仕組み	P2
やまがた絆の森づくりの目指すところ～森づくりで地域を元気に～	P2
協定締結企業等一覧	P3・4
協定締結企業等活動紹介	P5～13
やまがた絆の森のPRをしています	P14
協定締結企業等への支援	P14
森づくり活動の「見える化」の取組み	裏表紙

表紙の写真：グリーンロード（盃山）

撮 影 者：@sakilala1007

出 典：やまがた百名山フォトコンテスト



やまがた絆の森づくりとは

ねらい

企業等が実施する継続的な森づくり活動により、環境貢献と地域交流による里山地域の活性化を図ります。

体制

企業等、県、森林所有者で協定を締結し、企業等の森づくり活動をサポートします。

活動内容

森づくり活動、地域住民との交流等

やまがた絆の森づくりの仕組み

企業等

森林所有者

3者協定

県

協定(場所、期間、活動内容)に基づく森づくり活動の実施

森林の整備：植樹、下刈り、枝打ち、間伐、歩道整備等
森林の利用：自然観察、きのこ栽培、木工クラフト等

山形県(公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構)の支援

- 協定締結までの調整、サポート
(関係者(森林所有者、市町村、森林組合等)との調整等)
- 活動フィールドやプランの提案
- 協定締結後の専門知識・技術等の支援
- 活動成果の見える化(※CO₂森林吸収量認証制度(裏表紙))
- 森づくり指導者の派遣
- 活動に必要な用具(ヘルメット等)の貸出、紹介
- やまがた絆の森活動のPR(P14)

やまがた絆の森づくり
活動までの流れ

STEP 1

ご相談
活動イメージや予算について
お聞きします。

STEP 2

活動場所・プランの提案
具体的な活動場所やプランを
提案します。

STEP 3

現地確認・関係者との打合せ
現地をご案内し、所有者や地元と
調整をします。

STEP 4

「やまがた絆の森」の活動計画の策定
森づくり活動計画の策定をお手伝い
します。

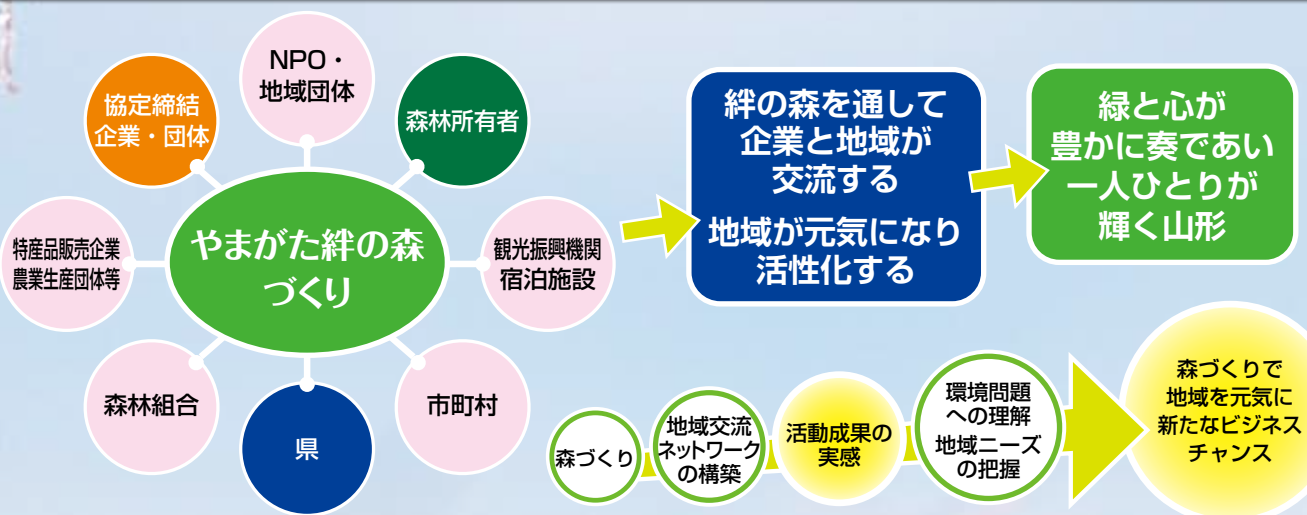
STEP 5

「やまがた絆の森」協定の締結
関係者の役割や期間、活動内容を
定めた協定を締結します。

STEP 6

森づくり活動の実施
森づくり活動の助言、技術支援を
行います。

やまがた絆の森づくりの目指すところ～森づくりで地域を元気に～



1.2ページの写真：鳥海山 チングルマ
撮影者：@yoshida.rappa8335
出典：やまがた百名山フォトコンテスト